

## 平成30年度第1回入札監視委員会議事概要

日 時 平成30年10月9日(火) 14時～15時10分  
場 所 市役所 分館2階 入札室  
出席者 委員等 中尾 宏委員長、田中 孝一委員、廣田 稔委員  
事務局 契約課長他契約課職員3名、各抽出案件発注担当課職員

### 【概 要】

#### 1 開会

##### (1) 委員長あいさつ

##### (2) 事務局報告

・昨年度、入札監視委員会にて、「落札価格が低かったにも関わらず、前年の予定価格と同一で価格を設定している案件について、前年の実績が反映できないか」との指摘を受け、落札率が低かった案件については、担当課へ関係書類を返却する際、積算が適正であったか次年度に向け検討するよう促している。

さらに、予算要望の際、見積りを最低2者取ることや他市町村の同様業務の仕様内容や契約額を参考するよう助言に努めた。

財政担当課が前年度予算に対する執行率が低かった場合の案件については、予算の査定段階で、十分留意し、予算査定するよう委員各位の意思を踏まえ、連絡している。

本市の財政状況が厳しいことから、予定価格と契約額の乖離が見られる案件については、次年度に向け、積極的に調査検討するよう助言を行っていく。

#### 2 議題

##### (1) 入札・契約手続の実施状況について

###### ① 入札・契約手続の運用状況報告(平成29年度下半期)

・事務局より平成29年度(下半期)契約課執行分の発注方法・業種別契約件

数を報告。

## ② 抽出事業の審査

主な質疑と回答要旨

### ◆ 防犯カメラ設置工事

委員：番号22の防犯カメラ設置工事において、防犯カメラ機器、ネットワークの設置及び保守を含む工事か。

発注課：カメラ機器10台の設置とネットワーク回線設置工事である。

委員：四街道市の防犯カメラ設置状況は。

発注課：今回分を含め74台である。

委員：防犯カメラ設置先の選定理由及び設置された防犯カメラの管理先はどこか。

発注課：設置先の選定については警察署と協議の上決定している。また、防犯カメラの設置目的が犯罪抑止であることから、防犯事業を担当している自治振興課で管理している。

### ◆ 防災資機材購入

委員：防災資機材は具体的にどのようなものか。

発注課：主な機材は、発電機、投光器、コードリールである。

委員：備蓄倉庫の数は。

発注課：4か所である。

委員：1者のみの入札参加か。

事務局：そのとおりである。

委員：防災資機材購入に係る国等の指針、人口比及び面積はどのようになっているか。また、他の自治体はどのように事業展開し、予算を計上しているのか調査はしたか。

発注課：防災資機材の購入にあたっては、各自治体ともに、世帯数から避難所の数及び最大被害の被災者数及び1か所の避難所において、どの位の被災者が避難されるかを想定し購入をしている。

防災関連の資機材購入に際しては、災害対策用資機材に特化した専門業者や、消火器等を専門に扱う業者等様々な専門分野の事業者があることから、入札の際は、遠距離からの運搬費用なども考慮に地区区分の指定をしている。

#### ◆ 四街道市空家等実態調査及び空家等対策計画策定業務委託

委員：本委託の内容は。

発注課：空家実態調査及び空家対策計画策定業務である。

空家実態調査については、市内空家数、状態、有効活用の有無が主なものである。

また、空家対策計画策定業務については、空家の適正管理の促進、今後の発生抑制方策、有効活用及び特定空家の方策としてどのように対応していくかの策定が主なものである。

委員：有効な効果がでるような計画は。

発注課：特定空家についての認定基準がなかったことから、認定基準に基づきどのように指導していくかを計画の中で詰めているところである。また、有効活用については、適正に管理を推進していくために、空家バンクの活用や相談窓口の設置を計画の中で検討しているところである。

委員：一般競争入札参加資格要件の許認可等について（１）と（２）を満たすことか。

事務局：そのとおりである。

委員：一般競争入札参加資格要件の許認可等について（１）の認証を取得している者とした理由は。

発注課：実態調査において、空家を特定した後、計画の中で有効活用を図るに当たり、所有者に対し、アンケート調査を実施し、情報を共有することになるため、個人情報を適正に管理できる業者を要件とした。

委員：空家実態調査について訪問をするのか。

発注課：アンケート調査を受け、外観調査、近隣住民の聞き込みも実施する。

委員：空家調査の結果は。

発注課：３７４棟である。

委員：空家調査は、市の全域か。

発注課：そのとおりである。但し、水道の検針状況や市民の方からの空家情報を蓄積していることからその情報も基に調査している。

委員：業者情報に当たり他自治体の実績を考慮したか。

発注課：空家法が施行されてから間もないことから、空家対策計画策定業務自体を実施している業者が少なかったが、自治体の実績を考慮した。

#### ◆ 四街道市什器等整備支援業務委託

委員：予算要求の際に見積りは徴取したか。

発注課：徴取した。

委員：見積りを徴取した者が落札したか。

発注課：そのとおりである。

委員：1者のみの入札について、担当課はどのような見解か。

発注課：結果として1者のみの応札であった。担当課としては複数の業者が入札参加すると推測していた。

委員：設計額と落札額に乖離が見られるが。

発注課：各地で起きている災害の影響もあり、今後、他自治体においても庁舎整備の需要が多くなると推察している。この分野での実績作り、更には企業 PR、企業努力などによるものと考えている。

委員：入札説明会は実施したか。また、電子入札における手順はどのように行ったか。

事務局：入札説明会は実施していない。また、入札は公告に記載のとおりである。

委員：問い合わせ等の対応は。

事務局：事前に質問期間を設け、質問内容に基づき回答を作成し、システムに掲載することで対応する。

#### ◆ 行政手続整備更新支援業務委託

委員：連携の基となる例規集検索システムと同等のサービスを提供している業者は存在するか。

発注課：同様な業者はある。

委員：従来の例規集検索システムを取り入れているため、本業者と随意契約したとの解釈か。

発注課：そのとおりである。

委員：設計額はどのように決定したか。

発注課：積算根拠は、見積りを参考とした。

委員：見積りの徴取先は。

発注課：随意契約業者である。

委員：本業者ありきか。

発注課：今回の業務委託は既存の例規集検索システムの更新業務であり、同システムの受注業者が整備を行わないと更新できないことから随意契約とした。

委員：例規集検索システムと連携するということでは、正確でスムーズであると考えますが、市民の立場からすると「1者の言いなりになるのでは」と危惧されることから、一つは、同じ仕組みを利用している他の自治体がどのような費用で行っているか比べるとともに、見積りが妥当であるかの裏づけを行うこと。

二つ目は、毎年、全体を入れ替えると大掛かりになるが、例えば、5年や10年かけ費用対効果で他者と切り替えた場合はどうか。何年かに1回は定期的に直しを行うことをお願いしたいがいかがか。

事務局：検討はできる。また、その他の案件についても同様な案件があり、認識はしている。これからも積極的にチャレンジしていきたい。

### ③ 指名停止の運用状況報告

平成29年度下半期指名停止状況を報告。

- ・公契約関係競売等妨害談合、独占禁止法違反行為等による指名停止 計8件

委員：指名停止期間中における入札等停止の取扱いは。

事務局：本市の運用として、公告日から開札日までの間は、入札に参加できない。

## 3 その他

○平成29年度(下半期)の再苦情申立なし。

## 4 閉会